

「この街」のために。「あなた」のために。

そうこう[®]

S O U K O U

社会医療法人 壮幸会

行田総合病院

TEL : 048-552-1111

2019年12月号(月刊) 発行：社会医療法人 壮幸会 行田総合病院



2019 / 12月発行 / vol.054

SPECIAL ISSUE ▶

行田市と埼玉県北部医療の未来を見据えて

特集 ▶

2019年の行田総合病院

行田総合病院がめざす未来。



社会医療法人社幸会 理事長

川嶋賢司

冬のひだまりがことのほか暖かく感じられる寒冷の候、行く年を惜しみながら新しい年に希望を馳せるこの頃。今号では当院が目指す未来についてお話をさせていただきます。

まず外科系では、手術に関して、支援ロボットを使った手術ができる科を広めることが最優先です。技術を学ぶために医師の派遣も積極的に行っていききたいと思えます。

見込まれるため医師を増やし、特に最先端医療を提供できるようにする予定です。

また、2020年度には新病棟の建設着工も予定しています。ICU（集中治療室）、CCU（冠疾患集中治療室）、救急部門をしっかり整備することで、急性期医療の質を上げられると思います。

真に地域の健康、地域社会の未来を支え続ける行田総合病院であり続けるため、地域医療連携の中で当院が持つ機能・特徴・役割を明確にすること。その上で地域の特性と患者さんのニーズを深く理解し、トータルな医療を提供すること。病病連携、病診連携、介護施設とのさらなる連携体制の構築を進めること。数多くある疾患の診療ガイドラインの導入。医療従事者のスキルアップ。さらには、ロボット支援手術の推進や最新医療設備、システムの導入。働き方

診療の部門別としては、循環器内科では、日本循環器学会循環器専門医による心不全治療や不整脈治療の一つであるカテーテルアブレーションを始めたので、数を増やしてより厚みのある医療を提供するのが目標です。心不全、心筋梗塞などは超急性期の治療が重要なので、24時間365日緊急対応できる体制をめざし、更なる充実を図っていきます。呼吸器内科、整形外科についても患者数増加が

改革も含めた職員の負担軽減対策などへ取り組んで参ります。そして人口や医療に対する予測事象を正面から受け止め、全職員が丸となって歩み続けていきます。

患者さんの苦しい時間、辛い時間を共に過ごしてその痛みを和らげ、病魔を取り除き、再び元通りの生活に戻ることができるよう最善を尽くす。それが私たちに与えられた使命です。この使命を全うすることが私たちの誇りでもあります。使命と誇りを次代へと受け継ぎ、より健やかな地域社会を実現するために私たちは今日も歩み、患者さんの傍に佇みます。

当院は32年目を迎えます。地域の方々に支えられ、開業医の先生方のご指導とお力添えのおかげと深く感謝しております。今後とも、なにとぞご支援・ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



4～5月

4月：社団法人輝生会会長・石川医師を招いて『リハビリテーション科症例発表会』開催。『第35回行田市鉄剣マラソン大会』に参加（写真）。5月：脳外医師を中心に『バラに囲まれたコンサート』開催。『春の防災訓練』施行。



4月

新入職員123名（初期研修医3名、看護師65名、准看護師3名、看護助手6名、薬剤師3名、リハビリセラピスト28名、臨床工学技士4名、臨床検査技師2名、診療放射線技師3名、事務スタッフ6名他）が入职。



8～9月

8月：行田市医師会の共催による『行田地区地域医療連携講演会』を開催。『臨床実習指導』受入。9月：台風15号の影響を受けDMATが千葉県君津市へ出動。48時間の医療支援を行う（写真）。『秋の防災訓練』施行。



6～7月

6月：『腫瘍内科外来』開設。報道各社がトップ記事に。『消化器外科によるロボット支援手術』がスタート（写真）。『北埼玉緩和ケア講演会』開催。7月：『第7回肝臓病教室』開催。『がん薬物療法勉強会』開催。



10～12月

10月：循環器内科『インド人医師に対するカテーテル治療の教育講演』開催（写真）。経済専門誌『週刊ダイヤモンド』に泌尿器科の実績が掲載される。『2020年度診療報酬改定を見据えた看護必要度分析研修会』開催。11月：病棟再編成。



9月

9月：循環器内科『カテーテルアブレーション治療』スタート（写真）。BLS/AED講習会施行。『リレーフォーライフジャパン2019さいたま』に看護師・MSWが参加。



2019年の行田総合病院。
❄️ Merry Christmas & Happy New Year ❄️

地域のために。あなたのために。未来のために。

2019年も24時間365日の診療体制を維持することを使命とし、地域医療支援病院・災害拠点病院・埼玉県救急搬送困難事案受入病院であり、埼玉県北で一般病床504床を誇る中核病院としての責務を果たして参りました。『あの病院があるから安心』とっていただけることを目標に、最新の医療機器の導入や施設拡充を行い、安心して暮らせる街づくりに協力し続けます。それでは、行田総合病院の2019年を写真で振り返ってみましょう。



3月

災害時の事業継続・早期復旧のための『BCP周知訓練』施行（写真）。『鴻巣市医師会学術講演会』で泌尿器科医師が講演。『疼痛疾患を考える会』に整形外科医師が参加。『糖尿病領域学術講演会』を開催。



1～2月

1月：新春対談『地域を支える（林副院長・川原林外科部長）』を広報誌に掲載。2月：『埼玉県特別機動援助隊合同訓練』に当院DMATが参加（写真）。『埼玉県敗血症治療セミナー』に消化器外科医師が参加。

『ぬくもりのある患者対応術』
新南棟 4F 会議室



2019年11月8日(金)・11日(月)

接遇委員会主催による全職員対象の勉強会

杏林製薬株式会社より講師をお招きし、接遇の重要性をテーマに「患者さんが医療機関を選ぶ時代になったいま、患者さんが求める接遇とは？」「挨拶・態度・言葉遣い・表情・身だしなみ・電話対応」などについてしっかりと学ぶことができました。全職員を対象に2日間に渡って開催されました。

病棟アクティビティ
東棟 3F 病棟デイルーム



毎月1回開催しています。

回復期リハビリテーション病棟では、患者さんの離床機会や体操習慣の獲得、認知機能低下防止を目的に看護師とリハビリセラピストが協力して毎回違った体操を提供しています。

Tokyo Live Demonstration 2019 で術者として公開治療。
群馬県立心臓血管センター



2019年10月11日(金)

日本心臓血管インターベンション治療学会・関東甲信越地方会「Tokyo Live Demonstration 2019」

当院循環器内科部長・興野医師が、群馬県立心臓血管センターで狭心症に対する公開カテーテル治療を施行しました。このセッションはカテーテル治療の教育を主目的に行われるもので、治療手技は東京大手町の学会本会場とライブ中継され、会場の諸先生方とのディスカッションを行いながら治療を行いました。

インド人医師に対する、血管内画像を用いたカテーテル治療の教育講演を開催。
循環器内科



2019年10月23日(水)

医師2名が来院。循環器内科によるカテーテル手術を見学。

当院循環器内科部長・興野医師がホストを務め、猪俣医長、生天目医師、看護師、放射線技師、MEなど血管撮影室のスタッフによる協力の下、事前のランチョンミーティングにて実施する症例を共有し、IVUS（血管内超音波検査システム）を使っでのカテーテル手術に同席しました。

胃癌治療を考える会
キングアンバサダーホテル熊谷



当院外科部長・川原林医師

熊谷総合病院副院長・北医師

当院外科医長・福元医師

埼玉慈恵病院院長・久保医師

がん研有明病院院長補佐／
消化器化学療法科部長・
山口医師

2019年10月30日(水)

テーマ『胃癌3rdライン治療について』

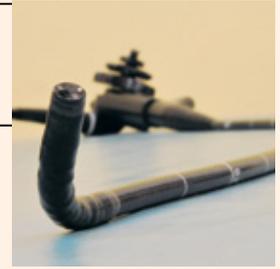
当院外科部長・川原林医師が開会の辞を述べ、一般講演は熊谷総合病院副院長・北医師が座長を務め当院外科医長・福元医師による『当院の胃癌後方ライン治療成績』。特別講演は埼玉慈恵病院院長・久保医師が座長を務めがん研有明病院院長補佐／消化器化学療法科部長・山口医師による『胃癌化学療法における新たな選択肢』が行われました。行田・熊谷・深谷等の医療従事者に多数ご参加いただきました。

ADVERTISING

院内・院外からの広告を受付けております。

●消化器内科・内視鏡センターからのお知らせ

早期がんを発見するために年に1度の内視鏡検査をおすすめします。



●患者さまから多いご質問

Q. 「内視鏡は苦しい...」と聞きますが？

A. できるだけ苦痛を軽減させるようにしておりますが、ご不安の強い方には適度な麻酔薬の使用（眠った状態での検査）も可能です。また、経鼻内視鏡もご用意しておりますので医師にご相談ください。

Q. がん治療＝お腹を切る大きな手術なのでは？

A. 早期発見できれば、お腹を切らずに内視鏡で治療が可能な場合があります。また、入院日数も1週間前後で退院できます。

▶事前診察・内視鏡検査のご予約は、TEL.048-552-1111

●「下肢の血管専門外来」／血管外科からのお知らせ

ところで、『足のむくみ』が気になっていませんか？



社会医療法人社団
行田総合病院
血管外科の紹介

一過性ではなく数日間『足のむくみ』が続くような場合には病気の可能性があります。

- ・足がだるい
- ・足の血管がボコボコと浮き出ている
- ・夕方になると足がむくむ
- ・夜間に足がつりやすい

このような症状を少しでも感じたら受付窓口にご相談ください。血管外科医による診察を行っております。

また、当院のホームページには『血管外科の紹介動画』が掲載されています。ぜひご覧ください。

http://gyoda-hp.or.jp/blog/2019/07/05/vascularsurgery_video/

[行田総合病院「下肢の血管専門外来」／血管外科]

●健診担当からのお知らせ

行田市特定健診を受けましょう。期間：2019年6月1日～2020年2月29日

行田市から届く受診券をお持ちの方はご予約できます。
当院での健診をご希望の方は、お電話にて事前のご予約をお願いします。

▶ご予約・お問合せ

TEL.048-554-0005（健診担当）

目的：生活習慣病の発症を未然に防ぐために、メタボリックシンドロームに着目した健診。
対象者：40～74歳までの方で、国民健康保険に加入の方（行田市在住の方）。
検査内容：身長・体重・腹囲・血圧・血液検査等。
自己負担額：500円（70歳以上および所得により無料）詳しくは受診券をご覧ください。

※当院では市健診の他にも個人や企業向けなど、様々なタイプの健診を行っています。

詳しくはホームページをご参照ください。http://gyoda-hp.or.jp/shinryoka_guide/kenshin-2/

[行田クリニック 健診担当]

